

官民競争入札等監理委員会ヒアリング

説明資料
(国際観光振興機構)

平成19年11月14日
国土交通省

JNTO海外事務所業務に係る市場化テストの導入

考え方

「簡素で効率的な政府」実現のため、国の行政機関等が自ら実施する公共サービスに関し、民間事業者の創意と工夫が反映されることが期待される一体の業務を官民競争入札等に付するという制度の趣旨を踏まえ、

JNTOの海外事務所業務について、**コア業務**(事業目標の実現を担保するための企画立案・調整に係る業務及び政府観光局としての公正中立な立場に対する信頼を基礎にした旅行業界等のキーパーソンとのネットワークを活用して実施する業務)以外であって、かつ、**一定のまとまりのある業務**について、アウトソースすることを検討する。

対象事業

旅行博覧会や展示会等への出展事業について、JNTO海外事務所では出展対象イベントの決定や共同出展勧誘対象者の選定、出展準備に係る進行管理を行い、出展申込、共同出展者の募集に係る連絡業務、ブースデザイン案の作成・施工、資料配付などのブースアテンド業務等については包括的に民間競争入札を行うことを検討する。

なお、導入箇所に関しては、既存の海外事務所の配置を補完する観点、入札手続きにおける使用言語の観点等を踏まえ、まずは1、2箇所について試行的に実施することとする。

考慮事項

上記業務について、真に効果的かつ効率的な実施を確保するためには、海外の事業者からの応札が必要であると考えるため、**民間競争入札における海外の事業者からの応札手続きを整備する必要がある。**

通訳案内士試験事務に関する民間競争入札の実施について

現行の法制度に基づき、責任ある試験の実施に支障をきたさないことを確保しつつ、可能な限り民間競争入札を行うことを検討する。

民間競争入札の対象範囲

筆記試験問題案作成業務
筆記試験問題印刷業務
試験申込受付業務
試験会場の確保業務

会場責任者、試験監督員等の確保及び割付業務
試験運營業務
マークシート式筆記試験問題の採点業務
合格者発表業務

、 のように試験会場を単位として入札を実施することが可能な業務についても、全ての試験会場について入札を実施する。
詳細については、今後、検討する。

入札等の実施予定時期

平成20年度中に入札公告し、平成21年度試験分から事業を開始する。